

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	日本語教室開催事業	所管	教育委員会学校教育部 教育センター Tel 2923-2396
-----	-----------	----	------------------------------------

事業の目的 (何の為に 行うか)	学校生活に適應できる程度までの簡単な日本語を習得することを目的とする。
------------------------	-------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	日本語の理解及び表現が困難な外国人児童生徒や海外帰国児童生徒	対象とした数	29	人
		実際に 利用した数	29	人

活動の内容	(何を したか)	1 該当の児童生徒が在籍する学校より日本語教室の申請を出す。 2 申請に基づき必要と判断された時に、日本語教室の講師と連絡を取り開講する。 3 週に1度2時間を単位として、教育センターまたは児童生徒の在籍する学校にて学習する。							
活動実績	項目名	受入児童生徒数	29	項目名	授業回数	253	項目名		単位
		-----	人		-----	回		-----	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,000	1,012	3,454	10.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	希望者への対応率	対応率	90	100	111.1
			-----	-----	-----
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了	
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	130500	TEL	2923-2396
事業コード	130505	日本語教室開催事業	教育委員会学校教育部 教育センター			
開始年度	平成 7 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	研修・研究			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針				地方自治法
	関連・類似事業	外国籍市民日本語教室開設事業(社会教育課)			
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育
			中柱	1 教育内容の充実	小柱
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード		コード		
事業開始の背景	日本語を理解できなかったり話せなかったりする外国人児童生徒や、海外帰国児童生徒の増加にともない、それら児童生徒が学校に速やかに適応できるようにするために本事業を開始した。				

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	学校生活に適應できる程度までの簡単な日本語を習得することを目的とする。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	日本語の理解及び表現が困難な外国人児童生徒や海外帰国児童生徒数			学校が申請し、日本語教室を受講することになった全児童生徒数					
	対象数	単位	平成 18 年度	18	人	利用数	単位	平成 18 年度	18
		平成 19 年度	29	人			平成 19 年度	29	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
1 該当の児童生徒が在籍する学校より日本語教室の申請を出す。 2 申請に基づき必要と判断された時に、日本語教室の講師と連絡を取り開講する。 3 週に1度2時間を単位として、教育センターまたは児童生徒の在籍する学校にて学習する。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
日本語教室開始時に行っていた開校式を縮小し、児童生徒の授業時間の確保に努めた。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		1,000	1,000	1,000	
	決算(見込み含む)		1,000	1,012		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.26 人	2,392	0.26 人	2,442
	公債費					
	事業費合計		3,392	3,454		
	財源内訳	一般財源	3,392	3,454	1,000	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			10.0	10.2		
利用数一単位あたり(単位:円)			188,444.4	119,118.6		

※「財源内訳」について平成20年度ののみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	受入児童生徒数	受入児童生徒数	人	18	29	20	
		授業回数	授業延べ回数	回	201	253	250	
	希望者への対応率	対応率	%	目標値	100	90		
				実績	100	100		実績値の拡大を図る1
達成率				100.0	111.1		実績値の縮小を図る2 1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		所沢市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	日本語教室を受講する児童生徒数の予測がでず、年度末に予算不足となり、受講を断る場合もあり得る。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	受講する児童生徒の様子を評価することにより、計画的な予算施行を図る。	希望した全児童生徒の速やかな受講。	平成21年3月	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
日本語を理解できなかったり話せなかったりする外国人児童生徒や海外帰国児童生徒が、学校生活に速やかに適応できるように、予算内で適切に本事業が推進されている。					
評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	教育センター所長・永井博彦		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
評価理由	評価日						
評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	◎個別計画				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	1161
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします			
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成			
施策の方向	6国際感覚の育成				